

スクールカウンセラーと養護教諭の協働（Ⅱ）

-継続的な心理教育的アプローチの実践-

梶原彰子（こころクリニック）・間野由美子（岡山市立中学校）・北川歳昭（教育心理学科）

The Cooperation between School Counselor and Yogo Teacher (II)

-A case study of the continuous psychoeducational approach-

Akiko SUGIHRA (Kokoro Clinic), Yumiko MANO (A Public Junior High School in Okayama City), Toshiaki KITAGAWA (Department of Educational Psychology)

抄 録

本稿では、養護教諭が8年間にわたっておこなった、スクールカウンセラー（以下 SC と記載）の活動も組み込んだ予防的心理教育的アプローチの過程を分析し、継続的な実践を行うことができた要因を検討した。養護教諭の SC を組み込んだ実践を『投げかけ期』『見守り期』『再構築期』のⅢ期に分けて資料分析を行った。その結果、学校の教育環境の変化が大きい中で、養護教諭と SC が連携から協働に発展していった過程が明らかになった。その継続的实践に至った要因として、①養護教諭から生徒への綿密で継続的な投げかけ、②生徒同士の学び合い、③SC の連携・協働の3点を挙げることができた。これら3点は、SC と養護教諭の協働による学校での継続的な予防的心理教育的アプローチが可能になる条件であると考察した。

キーワード：スクールカウンセラー，養護教諭，連携，協働